

2020年度事業報告書

2020年度収支決算書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会

I. 2020年度事業報告書

2020年度については、本法人の事業目的を達成するために、下記の事業を実施した。
また、ロボカップ活動の普及を図るため、WEBサイトの運営等により広報活動を強化するとともに、今後のジャパンオープン開催地候補を求めるべく積極的な行動をとった。

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 一般会計事業

① キャンプ等の開催

下記の通り、各リーグにおいてキャンプ・研究会などを行った。

- ・サッカー、レスキューシミュレーションリーグでは、2020年10月31日に、JapanOpen2020と同時にオンラインで研究会(人工知能学会「社会におけるAI」研究会 第38回研究会)を開催した。約20名が参加した。

<https://sites.google.com/site/jsaisigsai/past-meetings/meeting-2020-10>

- ・サッカー小型リーグでは、2020年11月22日に豊田工業高等専門学校およびオンラインにて研究会を行った。39名が参加した。

- ・サッカー小型リーグでは、2020年11月21日～22日に豊田工業高等専門学校にて練習試合を行った。5チーム32名が参加した。

- ・サッカーシミュレーションリーグでは、2020年8月19日に、オンラインで、夏の大会を行った。8チーム、20名程度が参加した。

<http://rc-oz.osdn.jp/pukiwiki/index.php?Event/2020/%B2%C6%A4%CE%C2%E7%B2%F1>

② ヒューマノイド・チャレンジ及び家庭向けサービスロボットの調査研究

- ・ヒューマノイド型ロボットの設計、制御等に関する技術動向について調査研究を行った。
- ・家庭向けのサービスロボットの課題設定と開発に関する技術動向について調査研究を行った。

③ WEBサイトの運営

- ・本法人の活動を紹介するホームページを運営し、ロボカップ活動の普及啓発を図った。

④ 星新一賞への協力

- ロボカップ日本委員会として、星新一賞への協力を行い(主催:日本経済新聞社)、ロボカップ活動の普及に努めた。

⑤ World Robot Summit (ロボット国際競技大会を改め)への協力

- ・ロボカップ日本委員会としてWorld Robot Summitに協力した。
- ・World Robot Summitに対して、サービス分野競技の企画・運営技術をサポートした。

(2) 競技会特別会計事業

① ジャパンオープン2020オンライン開催

- 2020年のジャパンオープンを下記日程で開催した。

ロジスティクスリーグ

競技：2020年（令和2年）9月19日（木）～22日（火）

サッカーシミュレーション，レスキューシミュレーション，@ホームシミュレーション
リーグ

準備日：2020年（令和2年）10月29日（木）

競技：2020年（令和2年）10月30日（金）～11月1日（日）

@ホームリーグ

準備日：2020年（令和2年）12月18日（金）

競技：2020年（令和2年）12月19日（土）～20日（日）

② 2020年 RoboCup Asia-Pacific 大会の件

2020年のRoboCup Asia-Pacific大会を愛知県と共同主催で開催すべく準備を進めた。

2. 収益事業

愛知県ロボット国際大会競技チーム強化支援事業に採択され、愛知県内のロボット競技会への参加チームに対して、専門家の指導支援や各種大会への出場のサポートを行った。

3. 庶務事項

(1) 2020年度第1回理事会

日時：2020年6月13日（土）17:00～17:50

場所：Zoomにて開催

出席者：11名（委任状による出席者1名）

審議事項

- (1) 2019年度事業報告及び収支決算の承認
- (2) 2020年度事業計画及び収支予算の承認
- (3) 議事録署名人の選任
- (4) その他

(2) 2020年度通常総会

日時：2020年6月13日（土）17:55～18:30

場所：Zoomにて開催

出席者：90名（委任状による出席者58名，欠席者：49名）

審議事項

- (1) 2019年度事業報告及び収支決算の承認
- (2) 2020年度事業計画及び収支予算の承認
- (3) 議事録署名人の選任
- (4) その他

(3) 2020年度末の会員数

正会員：102名

決算報告書

(第 22 期)

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会
単位：円

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,669,090		
未収入金	1,651,100		
流動資産合計		15,320,190	
2. 固定資産			
器具備品	2		
固定資産合計		2	
資産合計			15,320,192
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
未払法人税等	70,000		
前受金	186,000		
預り金	765		
流動負債合計		256,765	
負債合計			256,765
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		17,635,726	
当期正味財産増減額		▲2,572,299	
正味財産合計			15,063,427
負債及び正味財産合計			15,320,192

令和2年度 財産目録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会
単位：円

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	1,468		
りそな銀行普通預金	3,667,547		
きらぼし銀行普通預金	10,000,075		
未収入金			
愛知県委託事業業務委託料	1,651,100		
流動資産合計		15,320,190	
2. 固定資産			
器具備品			
家具等保管用コンテナ2台	2		
固定資産合計			2
資産合計			15,320,192
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等			
当期確定法人税等	70,000		
前受金			
年会費	186,000		
預り金			
源泉所得税	765		
流動負債合計		256,765	
負債合計			256,765
正味財産			15,063,427

上記、手元現金を確かに確認しました。
岡田浩之

財務諸表の注記

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。